

ヒバクシャ国際署名を

すすめる青森県連絡会ニュース

No.3 2017.4.3

連絡会事務局(TEL:017-766-1521)発行

◆国連で核兵器禁止条約の締結に向けた交渉会議始まる！

日本は不参加を決定。被爆者の怒り「またも被爆者は裏切られた！」



3月27日、いよいよ核兵器禁止条約の締結に向けた交渉会議が始まりました。「被爆者は、核兵器をなくそうと一貫して叫び続け、何度も国連にも足を運び、各国に訴え続けてきました。今、核兵器廃絶を求める運動に新たな一歩が刻まれようとしています。世界を変えるのは私たちです。核兵器をなくすのは私たちです。ヒバクシャ国際署名は、一人ひとりが核兵器はいらないと署名し、考え、行動するものです。」と被団協田中事務局長は訴えています。

◆県生協連で「平和と生協・ヒバクシャ国際署名」について学習！

3月14日(火)青森市アスパムにおいて、県生協連組合員活動研修交流会を開催し、青森県民生協、コープあおもり、青森保健生協、津軽保健生協、八戸医療生協の組合員62名と県連、講師合わせて67名が参加しました。

今回は、日本生協連虫本氏を講師に、「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」の本格的な取り組み開始に向けて、何故生協が平和の取り組みを行うのかとヒバクシャ国際署名に取り組む意義を学びあい、続いて、「青森県原爆被害者の会」の会長である田中正司氏より、18歳当時ヒロシマで被爆した時の様子、兵隊として被爆者の救護に携わった経験とその後の人生をお話しいただきました。戦後、広島での出来事を語る事がなかった田中さんは、退職後「被爆者の証言集」への寄稿をきっかけに、原爆被害者の会に入会しました。88歳の年に会長となり現在90歳の田中さんの「自分は娘や孫・ひ孫へと『命の連鎖』をつなぐことができたが、原爆のためにその『命の連鎖』を断ち切られた方々のために、何とかしてヒバクシャ国際署名を成功させて、生きているうちに核兵器をなくしたい」という熱いメッセージをお伝えいただきました。



■3/28 現在署名数：青森県 13,900 筆 全国 1,724,266 筆

2020 年までの署名目標は 20 万筆、2017 年度目標は 10 万筆です。6 月～7 月の国連会議に向けて、あらゆる場で署名を呼びかけましょう。

■県連絡会加入： 27 団体 2 個人

原水爆禁止青森県協議会・青森県労働組合総連合・新日本婦人の会青森県本部・青森県民主医療機関連合会・青森県商工団体連合会・青森県生活と健康を守る会連合会・日本民主青年同盟青森県委員会・日本共産党青森県委員会・青森県平和委員会・治安維持法国家賠償要求同盟青森県本部・青森県労働者学習協議会・弘前市原水爆禁止の会・青森県生活協同組合連合会・原水爆禁止青森県民会議・青森県原爆被害者の会・社民党青森県連合・青森県平和推進労働組合・アイ女性会議青森県本部・青森県高齢者問題懇談会・生活協同組合コープあおもり・青森県革新懇・青森県反核実行委員会・大間原発に反対する地主の会・青森チェルノブイリ子ども支援ネット・青森県うたごえ協議会・青森県庁生活協同組合・青森保健生活協同組合・小池伸二・三上直人

■今後の予定

○生協組合員研修交流会での声を受けて毎月 県民生協店舗で署名活動を行います。

4 月 15 日（土）11 時～12 時 アカシア館（青森市柳川 2-4-22）前です！

○「核兵器禁止条約の早期実現をめざす青森集会」の開催

昨年 12 月の国連総会決議に基づき、今年 3 月と 6～7 月に核兵器禁止条約を交渉する会議が開かれます。この 2 回の交渉会議を節にして全国、世界で署名運動がすすめられています。特に 6/15～7/7 の第 2 会期は今回の交渉会議の結論を出す会議になるので重要であり、青森でも第 2 会期中に集会を開き、運動飛躍の一大決起の場としましょう。

2017 年 7 月 1 日(土) 13:00～15:30 会場：県民福祉プラザ 4 階県民ホール

主催：ヒバクシャ国際署名をすすめる県連絡会

内容：被爆体験のおはなし・映画・各地のとりくみ報告など

※編集後記

3 月上旬、県連事務局に 1 通の封書が届きました。差出人はなんと 45 年前になる高校の担任の先生、びっくりして開封するとヒバクシャ国際署名用紙が 1 枚入っていました。懐かしく、嬉しく、早速封筒の番号に電話しました。風邪が長引いてと言っていましたが、9 条の会の活動で頑張っているとのこと、とてもうれしい一日となりました。